

平成21年9月3日

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成21年10月7日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第20674号	アクタラ箱粒剤	チアメトキサム粒剤	シンジェンタ ジャパン株式会社

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

農薬登録申請書第7項について、作物名「稲（箱育苗）」のチアメトキサムを含む農薬の総使用回数を「3回以内（育苗箱への処理は1回以内、本田では2回以内）」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

【変更前】

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チアメトキサムを含む農薬の総使用回数
稲 （箱育苗）	ウンカ類 ツマグロヨコバイ イネミズゾウムシ イネドロオイムシ	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5L）1箱当たり50g	移植前3日～移植当日	1回	育苗箱中の苗の上から均一に散布する	4回以内 （育苗箱への処理は1回以内、本田での粒剤は1回以内、水和剤は2回以内）

【変更後】

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チアメトキサムを含む農薬の総使用回数
稲 （箱育苗）	ウンカ類 ツマグロヨコバイ イネミズゾウムシ イネドロオイムシ	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5L）1箱当たり50g	移植前3日～移植当日	1回	育苗箱中の苗の上から均一に散布する	3回以内 （育苗箱への処理は1回以内、本田では2回以内）

【変更理由】

アクタラ粒剤5（第20672号、チアメトキサム粒剤）の「稲」への適用を削除するのに伴い、チアメトキサムを含む農薬の総使用回数の記載を整理するため。

平成21年9月3日

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成21年10月7日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第21956号	スポットライトプラス	カルフェントラゾンエチル乳剤	エフエムシー・ケミカル株式会社
第21957号	石原スポットライトプラス	カルフェントラゾンエチル乳剤	石原ハイサイエンス株式会社

■変更内容及び変更理由

【 変更内容（今回の使用制限変更にかかるところのみ） 】

作物名「ばれいしょ」の使用時期「1回目散布：開花後30日以降（茎葉繁茂期）2回目散布：1回目散布の3～6日後 但し収穫3日前まで」を削除し、使用時期「~~茎葉繁茂期~~ 但し収穫3日前まで」のみとする。

【適用表（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

[変更前]

作物名	使用目的	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	カルフェントラゾンエチルを含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量				
ばれいしょ	茎葉枯凋	茎葉黄変期 但し収穫3日前まで	150～300 mL/10a	通常散布 50～100L /10a 少量散布 25～50L /10a	2回 以内	茎葉 散布	北海 道	2回以内
		1回目散布： 開花後30日以降 (茎葉繁茂期) 2回目散布： 1回目散布の3～6日後 但し収穫3日前まで		1回目散布： 200mL/10a 2回目散布： 150～200 mL/10a				

[変更後]

作物名	使用目的	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	カルフェントラゾンエチルを含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量				
ばれいしょ	茎葉枯凋	茎葉黄変期 但し収穫3日前まで	150～300 mL/10a	通常散布 50～100L /10a 少量散布 25～50L /10a	2回 以内	茎葉 散布	北海 道	2回以内

【変更理由】

本剤を、使用時期「1回目散布：開花後30日以降（茎葉繁茂期）2回目散布：1回目散布の3～6日後」で使用した場合、薬害の発生する事例が生じたため。

平成21年9月3日

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成21年10月7日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第20850号	デジタルコラトップアクタラ 箱粒剤	チアメトキサム ・ピロキロン粒剤	シンジェンタ ジャパン株式会社

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

農薬登録申請書第7項について、作物名「稲（箱育苗）」のチアメトキサムを含む農薬の総使用回数を「3回以内（育苗箱への処理は1回以内、本田では2回以内）」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

【変更前】

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チアメトキサムを含む農薬の総使用回数	ピロキロンを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	ウンカ類 ツマグロヨコバイ イネミズゾウムシ イネドロオウムシ いもち病	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り50g	移植前3日 ～移植当 日	1回	育苗箱中の 苗の上から 均一に散布 する	4回以内 (育苗箱への処 理は1回以内、 本田での粒剤は 1回以内、水和剤 は2回以内)	3回以内 (育苗箱散布 は1回以内、本 田では2回以 内)
	イネクロカメムシ ニカメイチュウ		移植当日				

【変更後】

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チアメトキサムを含む農薬の総使用回数	ピロキロンを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	ウンカ類 ツマグロヨコバイ イネミズゾウムシ イネドロオウムシ いもち病	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り50g	移植前3日 ～移植当 日	1回	育苗箱中の 苗の上から 均一に散布 する	3回以内 (育苗箱への処 理は1回以内、 本田では2回以 内)	3回以内 (育苗箱散布 は1回以内、本 田では2回以 内)
	イネクロカメムシ ニカメイチュウ		移植当日				

【変更理由】

アクタラ粒剤5（第20672号、チアメトキサム粒剤）の「稲」への適用を削除するのに伴い、チアメトキサムを含む農薬の総使用回数の記載を整理するため。

平成21年9月3日

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成21年10月7日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第22403号	アミスターアクタラSC	チアメトキサム・アゾキシストロビン水和剤	シンジェンタ ジャパン株式会社
第22404号	協友アミスターアクタラSC	チアメトキサム・アゾキシストロビン水和剤	協友アグリ株式会社

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

農薬登録申請書第7項について、作物名「稲」のチアメトキサムを含む農薬の総使用回数を「3回以内（育苗箱への処理は1回以内、本田では2回以内）」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

【変更前】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チアメトキサムを含む農薬の総使用回数	アゾキシストロビンを含む農薬の総使用回数
稲	カメムシ類 いもち病 紋枯病	1000倍	60～150 L/10a	収穫14日 前まで	2回以内	散布	4回以内 （育苗箱への処理は1回以内、本田での粒剤は1回以内、水和剤は2回以内）	4回以内 （育苗箱散布は1回以内、本田では3回以内）
		8倍	800 mL/10a			無人ヘリコプターによる散布		

【変更後】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チアメトキサムを含む農薬の総使用回数	アゾキシストロビンを含む農薬の総使用回数
稲	カメムシ類 いもち病 紋枯病	1000倍	60～ 150L/10a	収穫14日 前まで	2回以内	散布	3回以内 （育苗箱への処理は1回以内、本田では2回以内）	4回以内 （育苗箱散布は1回以内、本田では3回以内）
		8倍	800mL/10a			無人ヘリコプターによる散布		

【変更理由】

アクタラ粒剤5（第20672号、チアメトキサム粒剤）の「稲」への適用を削除するのに伴い、チアメトキサムを含む農薬の総使用回数の記載を整理するため。

平成21年9月3日

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成21年10月7日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第22402号	アクタラフロアブル	チアメトキサム水和剤	シンジェンタ ジャパン株式会社

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかるところのみ）】

農薬登録申請書第7項について、作物名「稲」のチアメトキサムを含む農薬の総使用回数を「3回以内（育苗箱への処理は1回以内、本田では2回以内）」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかるところのみ）】

【変更前】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チアメトキサムを含む農薬の総使用回数
稲	カメムシ類	5000倍	100～150 L/10a	収穫21日前まで	2回以内	散布	4回以内 (育苗箱への処理は1回以内、本田での粒剤は1回以内、水和剤は2回以内)

【変更後】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チアメトキサムを含む農薬の総使用回数
稲	カメムシ類	5000倍	100～150 L/10a	収穫21日前まで	2回以内	散布	3回以内 (育苗箱への処理は1回以内、本田では2回以内)

【変更理由】

アクタラ粒剤5（第20672号、チアメトキサム粒剤）の「稲」への適用を削除するのに伴い、チアメトキサムを含む農薬の総使用回数の記載を整理するため。

平成21年9月3日

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成21年10月7日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第20673号	アクタラ粒剤5	チアメトキサム粒剤	シンジェンタ ジャパン株式会社

■変更内容及び変更理由

【 変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ） 】

農薬登録申請書第7項について、作物名「稲」を削除する。

【 適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ） 】

【 削除部分 】

作物名	適用病虫害名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チアメトキサムを含む農薬の総使用回数
稲	ウンカ類	1kg/10a	穂揃期 但し、収穫35日 前まで	1回	湛水 散布	4回以内 (育苗箱への処理は1回以内、本田での粒剤は1回以内、水和剤は2回以内)

【 変更理由 】

本剤を1kg/10aの低薬量散布することにより、ウンカ類の薬剤感受性低下を助長してしまう懸念があるため。

平成21年9月3日

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成21年10月7日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第22279号	デジタルメガフレア箱粒剤	チアメトキサム ・ピロキロン粒剤	シンジェンタ ジャパン株式会社

■変更内容及び変更理由

【 変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ） 】

農薬登録申請書第7項について、作物名「稲（箱育苗）」のチアメトキサムを含む農薬の総使用回数を「3回以内（育苗箱への処理は1回以内、本田では2回以内）」に変更する。

【 適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ） 】

【 変更前 】

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チアメトキサムを含む農薬の総使用回数	ピロキロンを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	カメムシ類	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約 5L) 1箱当り 50g	移植当日	1回	育苗箱中の苗の上から均一に散布する	4回以内 (育苗箱への処理は1回以内、本田での粒剤は1回以内、水和剤は2回以内)	3回以内 (育苗箱散布は1回以内、本田では2回以内)
	ウンカ類 イネミズゾウムシ イネドロオイムシ いもち病		移植前 3日 ～ 移植当日				

【 変更後 】

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チアメトキサムを含む農薬の総使用回数	ピロキロンを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	カメムシ類	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約 5L) 1箱当り 50g	移植当日	1回	育苗箱中の苗の上から均一に散布する	3回以内 (育苗箱への処理は1回以内、本田では2回以内)	3回以内 (育苗箱散布は1回以内、本田では2回以内)
	ウンカ類 イネミズゾウムシ イネドロオイムシ いもち病		移植前 3日 ～ 移植当日				

【 変更理由 】

アクタラ粒剤5（第20672号、チアメトキサム粒剤）の「稲」への適用を削除するのに伴い、チアメトキサムを含む農薬の総使用回数の記載を整理するため。

平成21年9月3日

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成21年10月7日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第20353号	ホライズンドライフロアブル	シモキサニル・ ファモキサドン水和剤	デュポン(株)
第20354号	日産ホライズンドライフロアブル	シモキサニル・ ファモキサドン水和剤	日産化学工業(株)

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

農薬登録申請書第7項中の作物名「レタス」を削除する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

【変更前】

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	シモキサニル を含む 農薬の総 使用回数	ファモキサトン を含む 農薬の総 使用回数
レタス	べと病	2500倍	100～300 L/10a	収穫7日前 まで	3回以内	散布	3回以内	3回以内

【変更後】

削除

【変更理由】

本剤のレタスへの使用場面において、薬害の発生する事例が報告されたため。

平成21年9月3日

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成21年10月7日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第2309号	強力ラテミン	リン化亜鉛粒剤	大塚薬品工業㈱

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

使用方法の「ヘリコプターによる散布」を削除

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】 ※使用制限以外の変更あり

【変更前】

作物名	適用場所	適用害獣名	使用量	本剤の使用回数	使用方法	リン化亜鉛を含む農薬の総使用回数
野ソが加害する農作物等	農地 山林	野ソ	1~2g(15~30粒)/ソ穴 1ヶ所又は 1kg/ha	—	1. 手まき (イ)ソ穴に1ヶ所当り1~2g(15~30粒)宛、そのままあるいは小袋詰を投入する。 (ロ)造林地及びその周辺30mに10m×10m又は5m×5mの格子状に1ヶ所当り本剤2~3gを配置する。 2. ベイトボックスによる防除 10アール当りベイトボックスを4~5ヶ、ソ穴のある場所に配置し防除する。	—
	山林				ヘリコプターによる散布 被害造林地及びその周辺30mに1ヘクタール当り1kgを全面散布する。	

【 変更後 】

ヘリコプターによる散布を削除

作物名	適用場所	適用害獣名	使用量	本剤の 使用回数	使用方法	リン化亜鉛を 含む農薬の総 使用回数
野ソが加害 する農作物 等	農 地 山 林	野 ソ	1~2g(15~ 30粒)/ソ穴 1ヶ所又は 30~150 g/10a	—	1.手まき (イ)ソ穴に1ヶ所当り1~2g(15~30粒) 宛、そのままあるいは小袋詰を投入する。 (ロ)造林地及びその周辺30mに10m×10m又 は5m×5mの格子状に1ヶ所当り本剤2 ~3gを配置する。 2.ベイトボックスによる防除 10アール当りベイトボックスを4~5ヶ、 ソ穴のある場所に配置し防除する。	—

【 変更理由 】

登録維持のための資料整備に時間と経費を要するため。